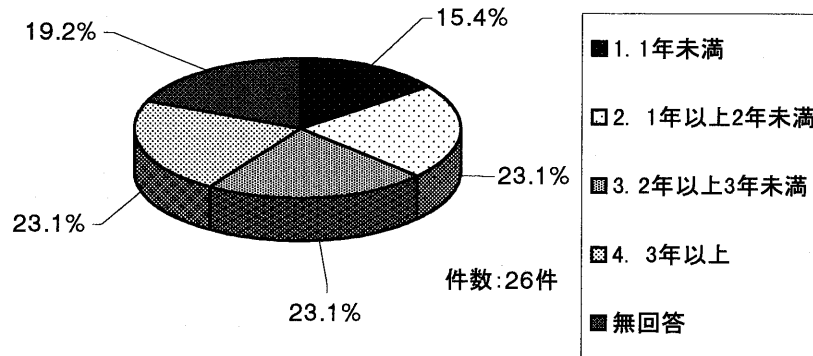


- また、準備段階の担当者が運営に携わっていた期間は、「1年以上2年未満」、「2年以上3年未満」、「3年以上」がそれぞれ6件(23.1%)ずつ、次いで「1年未満」4件(15.4%)となっている。

Q5-9. Q5-8で1を選ばれた場合、その方はどれぐらいの期間運営を担当されましたか。



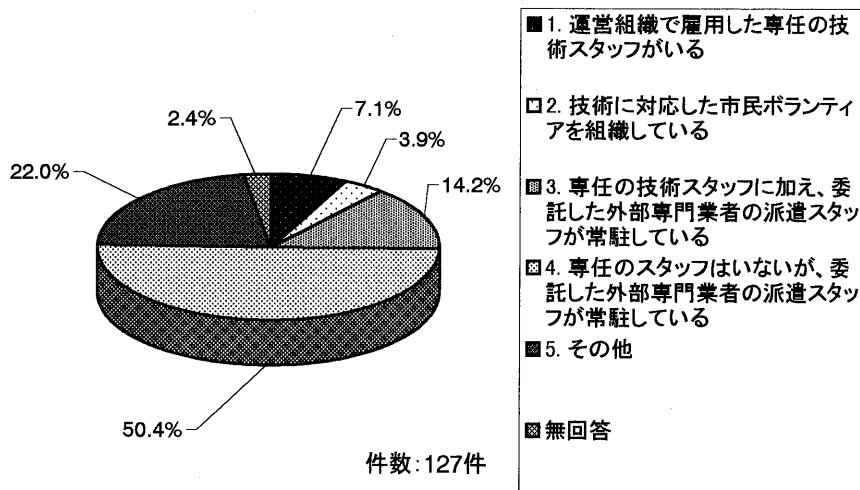
注) 複数いる場合はもっとも長く担当したケース

(3) 音響、照明等の技術スタッフ

① 技術スタッフの体制

- 音響、照明等の技術スタッフは、「専任のスタッフはいないが、委託した外部の専門業者の派遣スタッフが常駐している」が64件(50.4%)と半数以上を占めている。次いで、「運営組織で雇用した専任の技術スタッフに加え、委託した外部の専門業者の派遣スタッフが常駐している」18件(14.2%)と続く。
- 「運営組織で雇用した専任の技術スタッフがいる」は9件(7.1%)となっている。
- 「その他」も28件(22.0%)あるが、内容としては、必要時に外部の専門業者に委託(13件)、組織内の職員が担当(6件)、職員が担当し必要時に外部の専門業者に委託(4件)などである。ただしこれらの回答は、人口5万人未満のホールに集中している。
- また、技術に対応した市民ボランティアを組織しているホールは5件と少数派であり、いずれも人口5万人未満の都市に立地するホールとなっている。

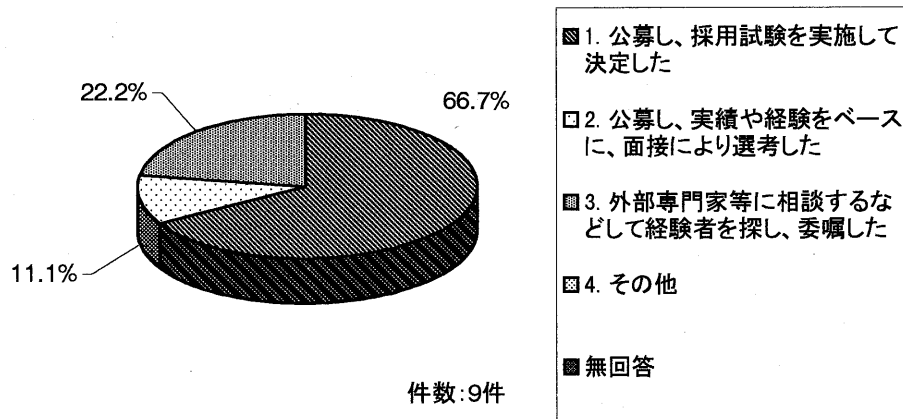
Q5-10. 音響、照明等の技術スタッフについてお答えください。



② 技術スタッフの決定方法

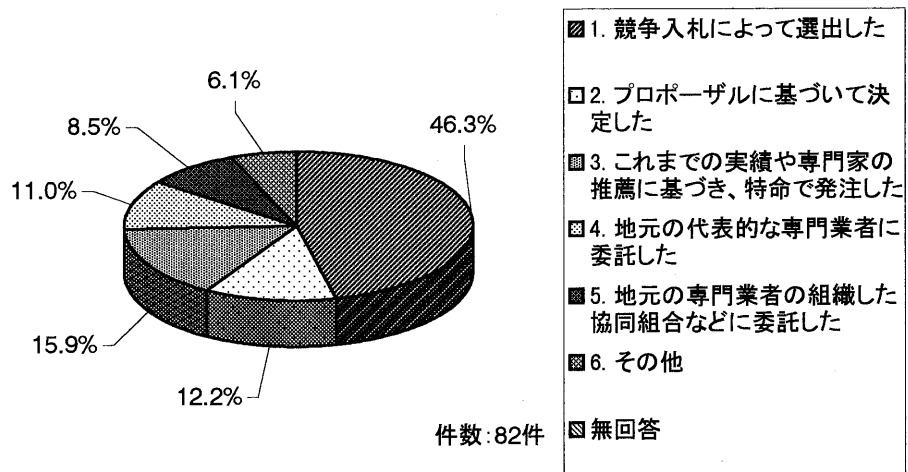
- 運営組織で雇用した専任の技術スタッフがいる場合、スタッフの決定方法は、「公募し、採用試験を実施して決定した」が6件で最も多くなっている。

Q5-11. Q5-10で1を選ばれた場合、選任の技術スタッフはどのようにして決定しましたか。



- 外部の委託業者の決定方法は、「競争入札によって選出した」が38件(46.3%)とほぼ半数を占めている。次いで、「これまでの実績や専門家の推薦に基づき、特命で発注した」13件(15.9%)、「プロポーザルに基づいて決定した」10件(12.2%)、「地元の代表的な専門業者に委託した」9件(11.0%)と続く。

Q5-12. Q5-10で3もしくは4を選ばれた場合、外部の委託業者はどのようにして決定しましたか。

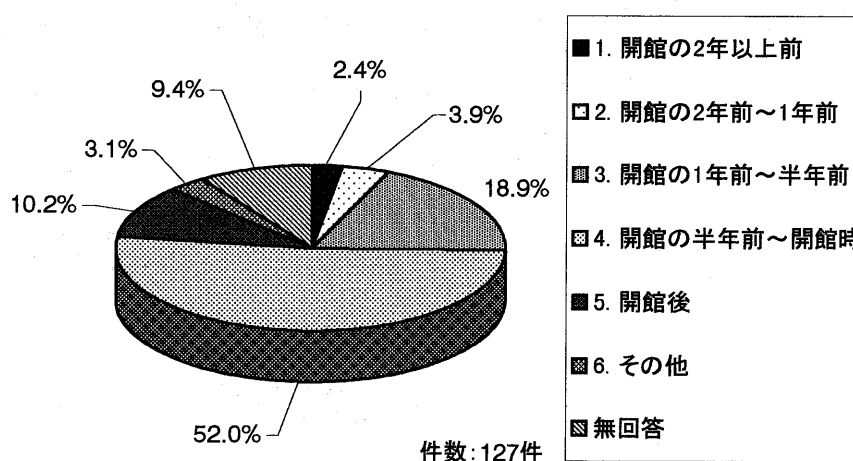


③ 技術スタッフの選出・依頼時期

- 技術スタッフの選出・依頼時期は、「開館の半年前～開館時」が66件(52.0%)と半数以上を占め、次いで、「開館の1年前～半年前」24件(18.9%)となっている。

- 「開館後」になってから技術スタッフを選出・依頼したケースも13件(10.2%)あるが、舞台設備の安全な運用を考えると望ましいことではない。
- 自由回答欄にも、次のようなコメントが寄せられており、技術スタッフの早期選出・採用はホールの円滑な開館にとって重要な要件である。
 - 舞台関係の設備等について、委託業者の決定が開館2ヶ月前だったので、委託業者の意向がまったく反映できず、運用面で不都合がある。
- なお、その他には、常勤の技術スタッフがないケースも含まれている。

Q5-13. 技術スタッフ(専任の雇用スタッフ及び外部委託業者)はいつ頃選出・依頼しましたか。



注) 複数のケースがある場合は、もっとも早く採用したケース

(4) 運営体制に関する課題や反省事項

- 運営体制に関する課題や反省事項としては、「計画段階で運営体制に関する十分な検討・準備がおこなわれなかったため、開館後人員不足などの不都合が生じている」が最も多く44件(34.6%)、次いで「行政内の人員だけで対応しているため、専門的な知識や経験が不十分で運営が必ずしもスムーズではない」40件(31.5%)となっている。
- 自由回答欄でも「管理運営方法等を基本計画、基本設計の段階までに整理する必要がある」、あるいは、「技術スタッフを含めて、運営の専従体制を早期に組織することが重要」といったコメントが寄せられている。
- 一方、「運営体制の面で不都合や問題が生じたことはなく、すべて順調にいった」と回答したホールも26件(20.5%)ある。
- なお、「その他」としては次のような回答が寄せられた。
 - 施設の完成から開館までの期間が短かったため、運営スタッフ、技術スタッフの研修ができず、運営に支障をきたした。
 - 「休日」がとりにくい。夜間利用へのサービスが、現状の職員体制では難しい。
 - ホールオペレータをボランティアが行っており、育成等必ずしも順調とはいえない。